

赤磐商工会経営発達支援計画特別審議会 議事録

委員会等名	令和6年度経営発達支援計画審議会
開催通知	令和6年7月12日(金)
開催日時	令和6年7月22日(月) 11時～11時33分
開催場所	Zoomによるオンライン会議
出席者氏名(出席者数10名)	
(委員) 原省吾(赤磐市 商工観光課)、宮地孝治(岡山市産業振興課 経営支援係) 牧野広和(岡山県商工会連合会サポートセンター次長) 野崎義博(中小企業診断士)、中原哲哉(赤磐商工会会長)、萩原潤彦・栗政丈二(赤磐商工会副会長) (事務局) 竹並事務局長・原地支援課長、岡口支援2課長	

会議次第	1 開会 2 あいさつ 3 審議事項 (1) 令和5年度経営発達支援計画事業の実施状況報告 (2) 令和6年度の取り組みについて (3) 意見交換 (4) その他 4 閉会
------	---

■ 審議事項及び審議の結果

定刻の11時となり、事務局長の竹並が開会を宣した。続いて、中原商工会長が新会長の就任挨拶と本日の会議の開催について謝辞を述べた。

(1) 令和5年度経営発達支援計画事業の実施状況の報告と令和6年度の取り組みについて

事務局長の竹並は支援課長の原地に説明を求めた。原地支援課長は、令和5年度経営発達支援計画実績報告書と法定経営指導員変更時に国に提出した「赤磐商工会における経営発達支援計画の実施状況」を使って、令和5年度の取り組みについて説明を行った。

また、令和6年度の事業については「令和6年度経営発達支援計画実施計画書」に基づき説明を行った。

(2) 前年度の取り組みの評価及び令和6年度の計画について意見交換

竹並事務局長は出席者に前年度の取り組み及び令和6年度の取り組みについて意見を求めた。出席者からの発言は以下のとおりである。

赤磐市 原氏

「商工会には赤磐市としていろいろとお願いしています。今年度は先ほど説明のあった『あかいわ創業塾2024通常コース』を私も全日程受講していますが、期待どおりの運営をしていただいています。また、内容もとてもためになるものと感じています。」

岡山市 宮地氏

「特に実施状況・計画について何も言うことはありません。月末でコロナ融資関連の施策が大きな転換を迎えましたが、7月以降の赤磐商工会管内での現場感はいかがでしょう？」

岡口支援2課長

「コロナの影響がないわけではないが、直接的な影響はほぼなくなってきたので、今後は通常の制度で借り替え対応になってくると思われます。また、コロナ以外の資材の高騰、エネルギー高騰などの影響で倒産等につながっているように思います。」

原地支援課長

「6月以降は金融機関から融資を謝絶されるケースが増えており、理由としてはコロナの影響ではない事が大きい。金融審査が通常モードになってくると『赤字補填』の融資では返済原資がないから貸せないとなります。コロナと言えれば何でも借りられた体験が事業者に残っていることが問題です。」

野崎中小企業診断士

「着実に成果を出しているのは素晴らしい。75件計画を作って半分近くの34件が売上アップになっている。これは人材育成に力を入れた賜物だと感じています。また、専門家派遣をあまり使わなくなったという話があったが、資質向上の成果だと感じています。(我々はこれでは仕事が無くなります) いろいろな商工会に訪問していますが、このように成果を出している商工会は少ないと感じています。」

県連牧野広域サポートセンター次長

「資金繰りの話で、経営安定特別相談室は通常年間60件ですが、すでに今年度は30件の相談があることを補足させていただきます。もう1点、DX支援を去年から力を入れなければならなくなりましたが、赤磐商工会ではどのように進めているのかを教えてください。」

岡口支援2課長

「DXは岡山県からのKPIに定められているので常に意識して取り組んでいます。例えば、会計ソフトの指導をLINEワークスで指導する。勤怠はハーモス勤怠を提案する。と言った形です。導入する事は簡単ですが、使えるようにフォローしていくことが大事だと考えています。」

原地支援課長

「今回の審議会もZoomを使っていますが、コロナが収束するとオンライン会議は無くなりました。しかし、本会では継続して活用し実践しています。ハーモス勤怠やLINEワークス、弥生会計も実際に商工会で導入して職員が体験することで普及しており、それが推進の要因だと思っています。」

竹並事務局長

「DXは使っていないと推進は難しいというのが実感です。一部の人だけ使っていると推進はこんなんでしょ。専門家は必要な部分では連携して活用している事を補足します。」

閉会の挨拶を栗政丈二氏が行い、閉会した。時に11時33分であった。

以上